

見えない思いをカタチに

バッジをしている人同士、すれ違ったらぜひ“GJ!” 声をかけあってください!

今、日本はかつてない大災害に見舞われています。福島第一原子力発電所事故により、今でも放射性物質が海や大気に拡散され続け日本全国が放射能汚染の危険にさらされています。私たちは、どうやって「かけがえのない、たいせつなもの」(たとえば子どもたち、家族、ペットたち。家、学校、地域のつながりなども!)をまもってあげられるのでしょうか?

事故以来、多くの人は「心配」「なんとかしなきゃ」「みんな、どうしているの?」という気持ちをかかえています。でも、放射性物質汚染に対する考え方、感じ方、行動は一人ひとりちがいます。そのため、なかなか思いを話すことができていません。「被曝の話をしたらいやがられるかも」「『気にするな』って言われるだけかも」と感じ、孤立している人たちが少なくないのです。

あかつぶ缶バッジ作戦委員会は、大切なものを被曝から守ろうとする人たちの「きもち」を目に見える形「缶バッジ」にして、ゆるやかにむすびたいと考えました。



柚木ミサトさんブログ
<http://www.mikanblog.com/>

缶バッジのデザインは柚木ミサトさん、「あかいつぶつぶの絵」のイラストを使用させていただきました。ふりそそぐ見えない汚染物質を「あかつぶ」であらわしたこの絵のシリーズは海外メディアでもとりあげられ、多くの被曝を案ずる人たちの心をやさしく、力強く表現しています。

「あかつぶ缶バッジ作戦委員会」の目的と趣旨

本会は、実生活の中で「被曝について心配している」ことを可視化(みえる化)し、放射能から大事なものを守り、また、被曝に関する注意意識の喚起を促すためのコミュニケーションツール、アイコンとして缶バッジその他のグッズを作成し、寄付付き配布販売及び配布をすることを目的とする。

(事業) 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 被曝についての知識を得るための活動を行うこと。
- (2) 被曝を減ずるため、また、被曝しながら生活するための活動に寄付を行うこと。
- (3) 「放射能汚染、被曝について考えている」ことを可視化し、注意意識の喚起を促すためのコミュニケーションツール、アイコンとして缶バッジその他のグッズを作成し、寄付付き配布販売及び配布をすること。
- (4) 「放射能汚染、被曝について考えている」者に対して、援助する活動等を行った者を表敬すること。

頒布方法

・郵便為替でお支払いの場合は下記の1~3を郵送してください。

・銀行振込の場合は口座にお振込の上1、2を郵送してください。

1. 定型封筒1枚…送付先の住所氏名を記入の上、返送用切手を添付してください
(切手: 1~9個まで80円 10個以上の場合は送料当方負担)
2. 注文個数と送付先を記入したメモ (チラシ下側を切り取ってご利用ください)
3. 注文個数×200円の額面の郵便為替

(振込先口座)

ゆうちょ銀行
記号 10550 番号 22714651
アカツブカンバッジサクセンインカイ
他金融機関からの振込の場合は
店名 ○五八(読みゼロゴハチ)店番 058

コメント等自由にお書きください

